

令和7年6月定例会 滑川市教育委員会会議録

- |   |                |                         |       |  |
|---|----------------|-------------------------|-------|--|
| 1 | 開催日時           | 令和7年6月19日(木) 午前10時00分～  |       |  |
| 2 | 開催場所           | 本館3階 大会議室               |       |  |
| 3 | 委員の定数          | 5名                      |       |  |
| 4 | 委員の現在数         | 5名                      |       |  |
| 5 | 出席委員等氏名        | 金谷潤子 道音博昭 平田均 水口明博 上田良美 |       |  |
| 6 | 欠席委員等氏名        | なし                      |       |  |
| 7 | 説明のため出席した者の職氏名 | 事務局長                    | 高倉晋二  |  |
|   |                | 教育総務課長                  | 山谷大有  |  |
|   |                | 子育て応援課長                 | 林 昌枝  |  |
|   |                | 生涯学習・スポーツ課主幹            | 黒田聡彦  |  |
|   |                | 教育センター所長                | 此川美奈代 |  |
|   |                | 教育総務課長補佐                | 鎗木知子  |  |
|   |                | 教育総務課係長                 | 蜷川博之  |  |

8 会議に付した事項

日程第1 前回会議録の承認について

日程第2 教育長の報告

日程第3 議決事項

- ・議案第20号 滑川市文化財調査審議会委員の任命について

日程第4 審議事項

- ・令和7年度教育委員会の事務の点検及び評価について（案）

日程第5 報告事項

- ・市議会6月定例会の質問事項等について
- ・公民館運営審議会委員の委嘱について

日程第6 その他

- ・各課より
- ・7月の行事予定

## 9 会議の要旨

|       |                                                                                                                                                          |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上田教育長 | それでは、ただいまから6月定例会を開会する。                                                                                                                                   |
| 上田教育長 | 日程第1 前回会議録の承認について、事前に会議録を送付しているが、これについてご意見、ご質疑等はないか。                                                                                                     |
| 蜷川係長  | 金谷教育長職務代理者より、会議録の修正の申し出があったので、報告する。<br><br>(内容について説明)                                                                                                    |
| 上田教育長 | ただ今指摘のあった箇所を訂正することとし、前回会議録は承認されたものとして異議はないか。<br><br>(異議なし)                                                                                               |
| 上田教育長 | 異議がないので、前回会議録は承認されたものとする。<br>続いて、日程第2 教育長の報告をする。                                                                                                         |
| 上田教育長 | (業務経過等について資料に基づき報告)                                                                                                                                      |
| 上田教育長 | ただいまの教育長報告について、ご意見、ご質疑等はないか。                                                                                                                             |
| 水口委員  | 先日、寺家小の学校訪問研修に参加したが、一部の普通教室が暑く感じた。学校内の温度管理はどのようにしているのか。教室毎にエアコンのスイッチをオンとオフにできるのか。また、誰がエアコンを入れる判断をするのか。今年の6月1日から、職場における熱中症対策が義務化され、企業においては対策を講じる必要が生じている。 |
| 山谷課長  | 教室内の室温が28℃を超えた場合、エアコンを使用するように徹底している。各普通教室においては担任がエアコンのスイッチを入れており、日ごろから校長・教頭が教員に熱中症対策としてエアコンを使用するように指導している。                                               |
| 平田委員  | 田中小、寺家小の学校訪問研修に参加したが、児童たちは全体的に落ち着いて学習していた。授業については、タブレット端末をグループで1台使用して学習するなど、工夫されていた。                                                                     |

|                     |                                                                                                                                                                                           |
|---------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                     | <p>両校の管理職にチーム担任制の実施状況について聞いてみたところ、特に若い先生たちにとって先輩の先生の話が授業等の参考になっており、悩みを打ち明けたり相談ができているとのことだった。</p> <p>また、寺家小の校内教育支援センター「ほっとルーム」を見学した。子どもたちと支援員とのやり取りの様子を見ることができ、子どもたちにとって大事な居場所であると思った。</p> |
| 上田教育長               | <p>続いて、日程第3 議決事項について説明願う。</p>                                                                                                                                                             |
| 黒田主幹                | <p><b>【 議案第20号 滑川市文化財調査審議会委員の任命についての説明 】</b></p>                                                                                                                                          |
| 上田教育長               | <p>議決事項であるので、事務局の原案についてお諮りする。議案第20号について承認することに異議はないか。</p>                                                                                                                                 |
| 上田教育長               | <p>他にご意見、ご質疑等があれば。</p> <p>(なし)</p>                                                                                                                                                        |
| 上田教育長               | <p>賛成全員で議案第20号は原案のとおり承認された。</p> <p>続いて、日程第4 審議事項に移る。</p>                                                                                                                                  |
| 山谷課長<br>黒田主幹<br>林課長 | <p>(令和7年度教育委員会の事務の点検及び評価について(案))</p>                                                                                                                                                      |
| 上田教育長               | <p>ただ今の説明について、何かご意見、ご質問はないか。</p>                                                                                                                                                          |
| 平田委員                | <p>生涯学習係においては、「音楽観賞会開催事業」、「音楽教室開催事業」、「俳句教室開設事業」のように複数の事業として実施していたものを令和6年度からは「文化芸術振興事業」に統合して実施したのか。</p>                                                                                    |
| 黒田主幹                | <p>その通りである。</p>                                                                                                                                                                           |
| 平田委員                | <p>「3 生涯にわたるスポーツの振興推進」について、昨年度はA評価が多かったが、今年度は1つもないのはなぜか。A評価がもっと多くてもよいと思う。</p>                                                                                                             |

|            |                                                                                                                                                               |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 黒田主幹       | 手引きにも記載してあるが、現在実施している事業については何かしら課題があり、事業の進め方を改善したり、事業の進め方を工夫したりすることが必要であると思われるため、A評価はつけていない。昨年度と今年度で事業の評価が変わったというわけではなく、行政評価の評価基準を踏まえて評価したため、A評価の事業が少なくなっている。 |
| 金谷教育長職務代理者 | 課によって評価のバラつきがあるのではないかと思うが、どのようにして評価をしているのか。                                                                                                                   |
| 黒田主幹       | まず、各事業の担当者が評価シートを作成し、その後、係長がその内容を確認・修正し、課長が最終決定をしている。                                                                                                         |
| 金谷教育長職務代理者 | 最終的には課長が評価シートの内容を確認し、決定しているのか。                                                                                                                                |
| 黒田主幹       | その通りである。                                                                                                                                                      |
| 金谷教育長職務代理者 | 課全体での会議はあるのか。                                                                                                                                                 |
| 黒田主幹       | 課単位で集まって会議をすることはない。                                                                                                                                           |
| 水口委員       | 評価項目が非常に多いと思った。もう少し重点的な項目をピックアップしたらどうだろうか。全項目を評価するということで、それに費やすコストに無駄が生じているのではないか。                                                                            |
| 高倉局長       | 行政評価については市が実施している事業の中でも重要なものであり、それだけのコストや時間をかけるだけの意義がある。そのため、このように内容が細かくなっている。                                                                                |
| 水口委員       | 評価の結果、コストの削減につながればよいと思う。事業についてはどんどん効率化を図ってほしい。また、今後は全事業ではなく、重点項目を決めて評価を行い、重点的な項目について、もっと時間をかけて評価したらよいのではないか。                                                  |

|            |                                                                                                                                               |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高倉局長       | いただいた意見について、担当課にも伝える。                                                                                                                         |
| 道音委員       | 総合評価について、A評価が多ければよいのか。A評価については前年度に取り組んだ内容で事業を継続するもの、B評価については継続事業であるが積極的な改善・見直しを行うもの、C評価については事業の縮小など消極的な見直しを行うもの、D評価については事業の統合・休廃止としたほうが良いと思う。 |
| 高倉局長       | 一概にA評価が多ければよいというわけではない。常に事業の見直しが必要である。                                                                                                        |
| 金谷教育長職務代理者 | 事務局の評価結果を尊重したいと思っている。事務局の評価結果はB評価が多いが、B評価については事業の進め方に改善が必要であるため、もっと謙遜せず自分たちのことを良いふうに評価したらよいのではないかと思う。                                         |
| 上田教育長      | 他に何かご意見、ご質問等があれば。<br><br>(なし)                                                                                                                 |
| 蜷川係長       | 本日配付した資料については各自、自宅に持ち帰って熟読いただき、意見・質疑等があれば7月4日(金)を目途にメールでご提出願いたい。                                                                              |
| 上田教育長      | 続いて、日程第5 報告事項に移る。<br>(市議会6月定例会の質問事項等について)<br>事前に資料を送付しているので、何かご意見、ご質疑等はないか。                                                                   |
| 道音委員       | 教職員の時間外勤務時間について、月45時間以内を達成しているのか。                                                                                                             |
| 山谷課長       | 中学校の教職員が若干超えている。これは部活動指導によるものである。                                                                                                             |
| 道音委員       | 部活動の地域展開が進めば、教職員の時間外勤務時間は減るのか。                                                                                                                |
| 山谷課長       | 部活動の地域展開を進めることで、土・日の勤務はなくなるので、時間外勤務時間は減る。                                                                                                     |

|      |                                                                                                                                                                       |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 道音委員 | 運動部については、時間外勤務時間が月45時間を超える教職員は減ってきているのか。                                                                                                                              |
| 山谷課長 | 減ってきている。                                                                                                                                                              |
| 道音委員 | 部活動指導員、スポーツエキスパート、地域活動指導員の違いは何か。                                                                                                                                      |
| 山谷課長 | 部活動指導員については、顧問の代わりに単独で生徒を指導・引率可能な特別職の非常勤講師である。スポーツエキスパートについては、単独で生徒の指導はできず、専門的な技術指導のみを実施する。地域活動指導員については、土日等の部活動を地域展開した、地域のクラブの指導者のことである。                              |
| 道音委員 | 地域活動指導員は土日に学校の施設を使用できるのか。                                                                                                                                             |
| 山谷課長 | 土日の日中は部活動で使用しているため、部活動を地域展開した、地域のクラブは夜間のみ使用している。                                                                                                                      |
| 道音委員 | 地域展開したクラブチームについては、平日・土日祝日問わず完全に移行しているのか。                                                                                                                              |
| 山谷課長 | 2031年度までに平日の部活動の地域展開を推進するよう、国からは求められている                                                                                                                               |
| 道音委員 | 滑川中と早月中の合同チームがあるが、将来的には全て合同チームになるのか。それともクラブチームに移行するのか。                                                                                                                |
| 山谷課長 | 各中学校の状況にもよるが、単独で実施できない場合は生徒の受け皿が必要である。合同部活動として活動する場合、中体連が合同部活動で大会の出場を可とするかどうかが問題となる。各中学校の教職員が部活動指導に対して負担を感じる場合は地域展開する、という考え方もある。これらは部活動に所属している生徒の人数や指導者の体制によって、左右される。 |
| 水口委員 | 競技によってはクラブチームへの移行が進んでいるが、中学校の部活動についてはどうなるのか。                                                                                                                          |

山谷課長 平日も活動でき、中学の部活動の受け皿となりうるクラブチームができれば、部活動を移行することもある。しかし、現段階では生徒数が減り、活動ができなくなるまで部活動は残るものと考えている。

水口委員 中学校から競技を始めたいという生徒にとってはやりづらいと思う。学校部活動という受け皿があれば、もっと気軽に始められると思うのだが。

山谷課長 平日の地域展開については難しい状況にある。平日は学校部活動として実施し、教職員が負担に感じるなら部活動指導員を配置して、なるべく生徒が活動しやすいような環境を整備したいと思う。

平田委員 中学校体育館への空調設備の設置の関係で、断熱工事の施工については今後、どのように進めていくのか。

山谷課長 断熱工事については、屋根への遮熱塗装の施工のみでも国の交付金の対象となるため、早く進められるよう取り組んでいるところである。現在、中学校の体育館への空調設備の設置に向けた調査を進めているところである。小学校の体育館については空調設備の設置に向けて、今後、しっかりと調査・研究を行っていく。

平田委員 資料にはないが、5歳児健診について、令和8年度から滑川市医師会と連携して実施を検討しているとのことだった。こども家庭庁は令和10年度までに全国の自治体で実施を目指すことがあったが、滑川市は来年度から実施を検討しているとのことである。安心して。小学校では発達障がいをもつ児童への対応が大きな課題となっている。現在もこども家庭センターは一生懸命に取り組んでいるが、今後、早期発見、早期療育のためこども家庭センターには支援体制や協力体制を整えてもらいたい。

金谷教育長職務代理者 コミュニティ・スクールの進捗状況を教えてほしい。

山谷課長 南部小学校の学校運営協議会が6月27日（金）に開催される予定であり、その他の学校については既に第1回目の学校運営協議会が開催された。現状では、昨年度までの学校評議員制度から一歩進めた取り組みをしようとしているところ

|            |                                                                                                                                  |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | ろである。                                                                                                                            |
| 平田委員       | 学校評議員制度については一方的な説明が多かったが、学校運営協議会制度については、さらに一步踏み込んだ制度であり、今後に期待している。                                                               |
| 山谷課長       | 基本方針の達成に向けて、地域で取り組もうとしている学校もある。例えば、地域の目標として「ありがとう」と言える子どもたちを育成するなど、地域と学校の目標を一つにして取り組みを進めようとする学校も見られた。今後、第2回目以降の学校運営協議会を楽しみにしている。 |
| 金谷教育長職務代理者 | 徐々に体制が整うようにお願いしたい。                                                                                                               |
| 上田教育長      | では、次の報告を説明願う。                                                                                                                    |
| 黒田主幹       | (公民館運営審議会委員の委嘱について)                                                                                                              |
| 上田教育長      | ただ今の説明について、何かご意見、ご質問はないか。                                                                                                        |
|            | (なし)                                                                                                                             |
| 上田教育長      | それでは、日程第6 その他について各課から説明願う。                                                                                                       |
| 山谷課長       | (教職員健康診断について)<br>(永年勤続教職員表彰について)<br>(水産研究所訪問学習及び富山湾岸クルージング海上学習について)                                                              |
| 林課長        | (第2回こどもの権利ワークショップについて)                                                                                                           |
| 黒田主幹       | (なめりかわ未来学校2025サマースクールについて)<br>(東福寺野自然公園写生会について)<br>(自然科学標本資料展(仮題)について)<br>(滑川のネブタ流しについて)<br>(奥の細道サミットについて)                       |



|            |                                                                                          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上田教育長      | 何かご意見、ご質問はないか。                                                                           |
| 金谷教育長職務代理者 | 先日、健康センターの事業の関係で児童館を訪問する機会があったが、児童館はいろいろな事業を実施し、頑張っていると思った。子どもたちが来館しやすい雰囲気づくりがされていると感じた。 |
| 上田教育長      | 最後に7月の行事予定について説明願う。                                                                      |
| 蜷川係長       | <p>(7月行事予定について説明)</p> <p>(次回の定例会の開催を7月25日(金)10時00分に決定)</p>                               |
| 上田教育長      | 以上で本日の日程は全て終了した。これで教育委員会6月定例会を閉会する。                                                      |